



よう らん 揺籃

揺籃(ようらん)とは「ゆりかご」のことです。本校の校歌の一節に「霊の揺籃 わが母校」とあります。中条校は、生徒の皆さんにとって精神(魂)をすこやかに育む「ゆりかご」でありたいと思っています。

一人一人が関わる学校づくり

■第2回中条～友情愛情向上～ミーティング 1/11 開催■

より良い学校づくりをめざして、昨年初めて実施したこのミーティング。昨年は代表生徒と職員によるものでしたが、今年は**全校生徒と全職員**で行いました。学年関係なく13グループに分かれて、**テーマ①「中条校のここがいい」、テーマ②「一人一人が成長できる学校にするためには」**の2つのテーマについて、付箋を使いながら話し合いました。全校でできるのも少人数の中条校ならではの取り組みです。各グループで進行するのも生徒、発表するのも生徒。各自、人ごとにはせず、マジックを持って、同じ内容の付箋をまとめる姿がありました。

テーマ②の「一人一人が成長できる学校にするためには」では、各グループから、「資格取得を充実させれば、就職や進学に役立たせられる」、「窓に網戸がつけば、虫が入らず集中できる」、「学食があれば、生徒のつながりが深まるし、お弁当がない場合もしっかりと食事が摂れる」、「朝のバスの時間が少し早まれば、必要な授業の準備などを行うことができる」などのアイデアが出されました。今後は生徒会役員と職員で話し合う機会をもち、出されたアイデアの一つでも実現していきたいと考えています。



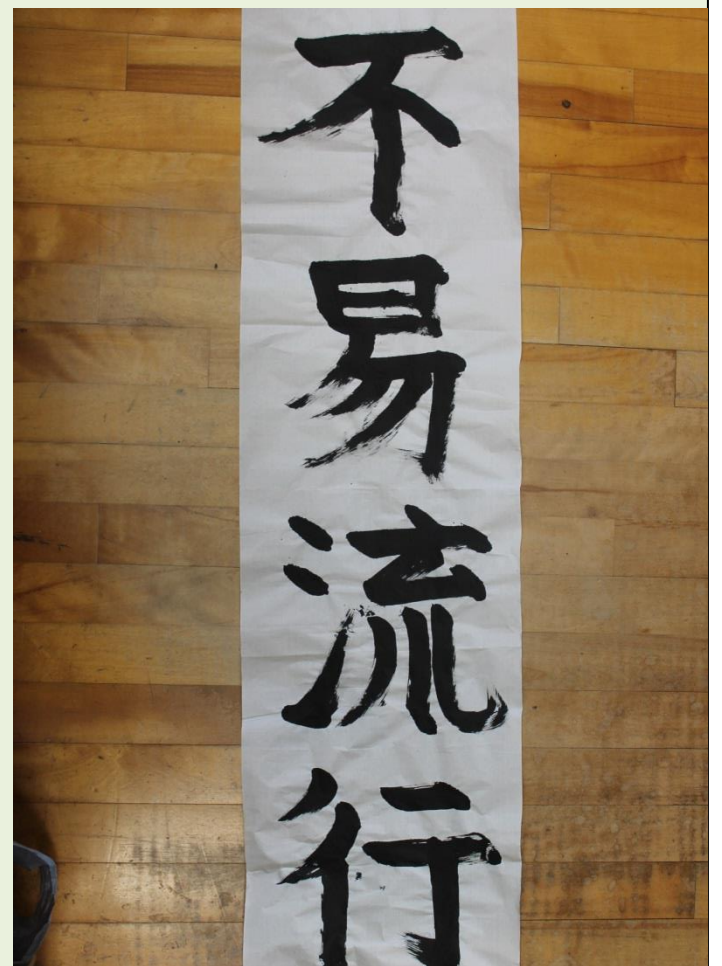
◆ “詩吟”を通して古典を学ぶ 12/20 ◆

昨年に引き続き、詩吟の先生である日本詩吟学院師範の塚田先生にご来校いただき、古典の授業の一環として“詩吟”を学びました、漢詩や吟詠についての説明や杜甫の『絶句』を使って先生の後について吟詠しながら吟符を用いて学ぶなど、わかりやすく教えていただきました。特に漢詩の押韻については、上杉謙信と武田信玄の『川中島の戦い』を詠んだことで有名な、頼山陽の『不識庵 機山を撃つ の図に題す』を現代語・ラップ調にしたものをクラスが半分に分かれて詠み合うなど、楽しく学ぶことができました。



■2018年スタート■

平成30年1月9日、三学期の始業式が行われました。副校長のあいさつでは、「世の中、それぞれの人、そして中条校にも、“変える必要のない大事にしたいもの(不易)”と“変えたらもっとよくなるもの(流行)”があるはず。いつまでも変化しない本質的なものを忘れない中にも、新しい変化を取り入れていこう」という話がありました。(↓三年小坂くんの書)



◆ 全校保健講座 12/21 ◆

“体を動かしてストレス解消”～タグラグビーをやってみよう～

長野市で子どもたちにラグビーを指導されている安田隼先生にご来校いただき、保健講座を行いました。ラグビーと言えば、“タックル”ですが、素人にいきなりは無理なこと。そこでラグビーの導入として生まれたのが、“タグラグビー”。“タックル”の代わりに、腰につけた“タグ”を取る“ラグビー”。生徒からは、「ラグビーが楽しくできるスポーツだとわかった」、「学年を越えての絆が深まったと思う」、「体を動かしながらだと普段話さない人とも話やすかった」、「スポーツにおいて人間関係が大切だと思った」などの感想が寄せられました。一年間の疲れやストレスを癒す機会となったでしょうか。

